

おおがわら

議会だより



第180号

令和8年8月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください

大河原町議会



星に願いを

令和8年7月7日

(桜保育所たなばた会)

議案審議	②③
小学生の議会傍聴	④⑤
町政への提言	⑥
全員協議会	⑪⑫
政務活動費	⑬⑭
委員会活動	⑮⑯
町民の声	⑳㉑

議 案	結 果 (賛成：反対)	議 員 別 表 決 結 果 一 覧														
		今野 智志	高屋 伸一	遠藤 勇耶	佐藤 暁史	中村 淳	佐久間 克明	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖	須藤 慎	丸山 勝利
議案第30号	原案可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠 席	○	○	議	
議案第31号	原案可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議	
議案第32号	原案可決(9:4)	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○		×	○	議	
議案第33号	原案可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議	
議案第34号	原案可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議	
議案第35号	原案可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議	
議案第36号	原案可決(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議	
《表決の区分》 ○：賛成 ×：反対 除：除斥 議：議長なので表決に加わらず 欠：表決時に欠席(欠席・遅刻・早退・退席) 投：無記名投票(人事案件など)																

《表決の区分》 ○：賛成 ×：反対 除：除斥 議：議長なので表決に加わらず 欠：表決時に欠席（欠席・遅刻・早退・退席） 投：無記名投票（人事案件など）

議決責任の明確化

令和8年第2回 大河原町議会定例会6月会議 提出議案概要

11件(報告4件、議案7件)

報告第5号 繰越明許費繰越決算書の報告について
(一般会計)

都市計画費(白石川右岸河川敷等整備事業)
2億8000万円を含む3億2716万7千円に同意

報告第6号 予算繰越計算書の報告について
(公共下水道事業会計)

地方公営企業法第26条1項の規定による建設
改良費の繰越額1億2107万3千円に同意

報告第7号 専決処分の報告について
(大河原町町税条例の一部を改正す
る条例)

地方自治法第180条第1項の規定により専決
処分された町税条例の(上位法改定に伴う)一部
改訂の報告に同意

報告第8号 専決処分の報告について
(大河原町都市計画税条例の一部を
改正する条例)

地方自治法第180条第1項の規定により専決
処分された町税条例の(上位法改定に伴う)一部
改訂の報告に同意

議案第30号 物品購入契約の締結について
(軽四輪消防ポンプ付積載車購入)

軽四輪消防ポンプ付積載車購入契約(717万
8290円)の締結について可決

議案第31号 物品購入契約の締結について
(消防団員用活動服購入)

消防団員用活動服購入購入契約(1069万2
千円消防団員240名分)の締結について可決

議案第32号 町長等の給与に関する条例の一部
改正について

令和8年7月分の町長給料の20%、副町長給
料の10%を減額支給することの条例改正を可決

議案第33号 令和8年度大河原町一般会計補正
予算(第1号)

原油価格・物価高騰対策中小企業支援3500
万円、カーナビのTV視聴料是正等含む9779万
1千円の追加を可決

議案第34号 令和8年度大河原町介護保険特別
会計補正予算(第1号)

当初予算16億3540万1千円に5万6千円を加
え総額16億3545万7千円とする

議案第35号 工事請負契約の締結について(大商
労R8-1 大河原産業高等学校農
場代替地造成工事)

大河原産業高等学校農場代替地造成工事契
約(2億6268万円)の締結について可決

議案第36号 工事請負契約の締結について
(大河原町立大河原南小学校2号校
舎・屋内運動場外壁改修工事)

大河原町立大河原南小学校2号校舎・屋内運
動場外壁改修工事購入契約(9019万円)の締結
について可決

議 案 審 議

議案第32号 町長等の給与に関する条例の一部改正について



議案審議の
動画はこちら

令和7年度に実施した「賑わい交流拠点施設整備調整池築造工事」に
おける事務執行において、町政に対する信頼を損ねる結果となったこと
を重く受け止め、町長の任命権者責任及び副町長の事務管理責任として、
給料を減額する特例措置を講ずるもの。

特例措置内容 令和8年7月の給料において、町長20%、副町長10%の
減額

賑わい交流施設調整池の追加工事約6500万円を議会に諮らず未契約の
まま進めてきた責任を取って、7月分給料を町長20%、副町長10%の減額は
当然の処分であり、この点については賛成する。しかし、町は「法令や条例
に反していない。不測の事態だった」と説明するが、納得できない。町民の
感情も納得しないと考えることからこの議案には反対する。

反
対



万波 孝子

執行部は、議決前の着工を「単なる手続きの遅れ」と主張する一方、トッ
プの減給処分を提案した。しかし過去の実害の出た重大不祥事ではトップの
処分は一切なく、この対応は明らかな矛盾だ。わずか1か月の減給という「お
手盛りの免罪符」で違法性への追及を逃れ、うやむやに幕引きを図る執行
部の保身を追認することは、首長の暴走をチェックすべき議会の存在意義を
放棄する行為であり反対する。

反
対



今野 智志

議会の議決に係る工事請負契約には定めがあり、当初5000万円を超える
ものに関して議決が必要である。今回の工事は昨年6月に1億1000万円で議
決されたが、その後の追加工事で6500万円を超える工事費が費やされ、工
事もほぼ完了している異常事態。専決処分に関する例規には追加工事が500
万円を超える場合は再度議会の議決が必要とある。その13倍を超えて進めら
れた今回の不祥事がこのような処分で幕が引かれるのは納得いかないので反
対する。

反
対



岡崎 隆

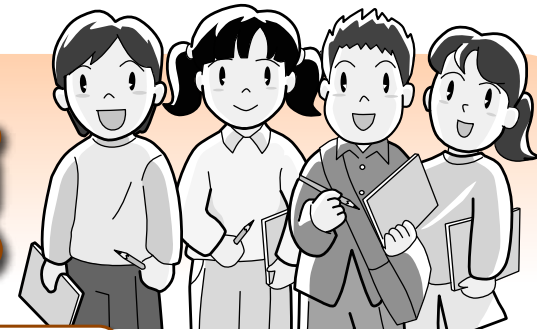
賛
成



大沼 忠弘

適正な事務執行を欠いた事案に対する執行部自ら処する内容であることか
ら、議会、議員の側としては性質上、あまり注文をつけるべきものではないが、
社会通念に照らし合わせ、他の類例を調べてみたところ申し述べる。処分の
内容については減給額のこともあるが、事案の重大さの受け止め方によって、
重く受け止めているほど減給期間を長く設けているよう。今般の議案では1ヶ
月の処分として上程されたが、これについてもまた事態の受け止めによって更
に延長もあることを念頭に、まずは此度の対応を町民の皆様へ早急に示すこ
とを優先して考え、賛成とする。

小学6年生 初めての議会傍聴



6月9日、10日の2日間、授業の一環として町内の小学6年生が、議場内で一般質問を傍聴しました。町長や各課長と議員の議論に緊張した表情で聞き入り、真剣な様子でメモを取っていました。感想を寄せていただきましたので、一部を紹介します。

ぼくたちが住む大河原町は、まだまだ改善する点はあると思いますが、今回の議会見学で議員さんたちは、大河原町のために全力をつくしているのだなと感じました。
金ヶ瀬小学校



町の大きな工事や税金の使い方について、議会でこれほど激しい議論が行われているとは、知りませんでした。
金ヶ瀬小学校

議員の人たちは、町だけでなく町民のこともしっかりと考えてくれていてうれしかった。
議員さんたちは、町の未来を背負っているため大変なお仕事だと思った。
大河原小学校



町の未来を決める大切な話し合いが行われている緊張感が生で伝わってきました。今後は、社会の授業やニュースを通じて、町の仕組みについてもっと勉強したいと思います。
大河原小学校

私達がみていないだけで裏ではこんなに考えていたなんて知らなかったし、議員さんたちが大河原町を大好きなことが伝わってきました。
大河原南小学校



社会の授業で事前に町議会のビデオを見ましたが、実際に町議会に行ってみると議場が広くてビックリしました。
大河原南小学校

- | | | | | | | | |
|----------------------------|-------------------|---|-------------------------|----------------------|------------------------------|------------------|--|
| A | Q | A | Q | A | Q | A | Q |
| 今年で町制施行70周年なので70年から始まりました。 | 大河原町議会はいつから始まったの。 | 定例会は3月、6月、9月、12月の年4回。重要な議案があればいつでも招集されます。 | 町民からの要望や自分で調査して見つけています。 | 議会は、どのくらいの頻度で行っているの。 | 1日5時間を基準にして議案により会期の日数が決まります。 | どうやって議題をみつけているの。 | 議員さんの質問のときに30分タイムが動いていたが、最後の分になったらどうなるの。 |

みんなの
疑問
Q&A



町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は10人の議員が行いました。

万波 孝子P⑦

- 物価高・資材不足から暮らしと営業を守る対策について
- 熱中症対策について
- 小中学校プール授業に屋内温水プール設置を

高橋 芳男P⑧

- ドナーミルクの利用拡大を
- スフィア基準について
- 在宅避難支援について

高屋 伸一P⑨

- 電柱の移設について
- 側溝の安全対策について

今野 智志P⑩

- ※町の未来を支える人材の確保と、若手職員が生き生きと働ける人事評価制度への改革について
- 賑わい交流拠点施設の物価高騰にともなう町の追加負担と調整池問題について

中村 淳P⑪

- 賑わい交流拠点施設について
- ※大河原町に於ける宿泊税の取扱について

佐藤 暁史P⑫

- 賑わい交流拠点施設について
- プチプチ(気泡緩衝材)の再利用について

佐久間 克明P⑬

- 町内小中学校の受水槽更新について

大沼 忠弘P⑭

- 地域の担い手充足について
- ※学校給食について

遠藤 勇耶P⑮

- 地域コミュニティの変化を踏まえた防犯対策について
- 子ども達の意見を活かした町づくりにについて

岡崎 隆P⑯

- 災害対策の再点検の取り組みを急ぐべき

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。
内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
(<https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/>)
各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。

町民生活・業者守る支援策を

中小企業者支援金を予算化

生活費

物価値上げ、早く止めてほしいー！

問

年間で2万品目値上げすると言われている。ふるさと未来基金を活用し、昨年実施した水道料金の減免や年金生活者、母

問

中小企業振興資金の上限100

町長

中東情勢により、中小事業者等へ一律5万円、運送業者等へ1台3万円の支援金を6月議会に上程した。

町長

何がいか検討したい。物価高・資材不足の影響について商工会や地元業者から現状を伺ったが、先行き不透明の深刻な声が多かった。コロナ禍以上と言われている。支援策が必要ではないか。

問

足の影響について商工会や地元業者から現状を伺ったが、先行き不透明の深刻な声が多かった。コロナ禍以上と言われている。支援策が必要ではないか。

町長

指定ごみ袋は不足していないか。当面の分の在庫はある。

問

指定ごみ袋は不足していないか。当面の分の在庫はある。

問

猛暑日には公共施設をクーリングシェルターとして開放してきたが、ドラッグストアなども連携し避難スペース確保に取り組んではどうか。

更なる熱中症対策を

0万円を2000万円にしてほしい声がある。応えられないか。

課長

金融機関への預託金も倍にする等総合的に判断する。

町長

協定締結の可能性を検討する。民生委員のなり手不足が指摘されているが現状は、10行政区13名の欠員。

町長

過重負荷解消のために複数で活動できるよう見直しはどうか。

問

負担軽減を図る活動方法を引き続き検討する。

町長

令和7年度の熱中症搬送件数は17件。その内エアコン使用なし3件、エアコン設置なし2件だった。エアコン購入や修理で困っている高齢者世帯に補助を。

問

さまざまな視点で検討したい。

町長

さまざまな視点で検討したい。

学校プール 老朽化進む

問

各学校プールの耐用年数は、老朽化の状況は、

教員

耐用年数は省令で30年。大小59年、金小45年、南小44年、大中36年、金中55年。修繕により、当面は使用に問題はない。

問

大小59年は待つたなしの課題である。次期総合計画に拠点温水プール設置検討委員会を明記し前に進めていく考えは。

教員

昨年度より民間プール活用の検討を始めた。温水プールは考えていない。

町長

指摘は真摯に受け止める。

中東情勢
の影響



まん なみ たか こ
万波 孝子

一般質問

母乳バンク

ドナーミルクの利用拡大を

国や県の動向を注視



たか 橋 芳 男

早産や帝王切開など母体の健康状態により、十分な母乳が得られない場合、母乳バンクは、母乳を適切に低温殺菌処理・細菌検査・冷凍保管し、早産・1500グラム未満の極低出生体重の赤ちゃんに提供する仕組み。日本では、出産時の体重が2500グラム未満の低体重出産時10人に1人の割合で生まれている。

問 本町では、ドナーミルクの利用拡大のため、産婦健康診断時や産後ケア等での周知機会の拡大と、医療現場及び町民に対する広い普及啓発を、それぞれ進めていくべきだと思うがどうか。

町長 本町におきましては、ドナーミルクの利用について相談をうけたことはないが、国や県の動向を注視していきたい。

スフィア基準

問 昨年12月に取り入れられたスフィア基準では、避難所の必要最小限の水・食料・トイレなどの基準がされています。政府では、被災地にキッチンカーやトイレトレーラー等を迅速に提供するための事前登録制を検討している、わが町も取り組むべきだと思

町長 事前登録はすでにしており、災害時には利用可能となっている。また、スフィア基準の取り組みについては、避難場所のスペース確保は困難なものの、限られたスペースの運用のあり方を調査・研究していく。

フィア基準に基づく取り組みについて見解を伺う。

町長 事前登録はすでにしており、災害時には利用可能となっている。また、スフィア基準の取り組みについては、避難場所のスペース確保は困難なものの、限られたスペースの運用のあり方を調査・研究していく。

町長 事前登録はすでにしており、災害時には利用可能となっている。また、スフィア基準の取り組みについては、避難場所のスペース確保は困難なものの、限られたスペースの運用のあり方を調査・研究していく。



赤ちゃんの命を繋ぐドナーミルク

在宅避難支援

近年の避難生活では、様々な理由で在宅や車中泊での避難者が少なからずいる。そこで、在宅避難を広げるための対策を質問する。

問 在宅避難の可能性を広げるため、耐震診断や耐震改修工事費補助の支援を2000年5月以前に建て

られた木造建築まで拡張すべきと思うがどうか。

町長 宮城県では、2000年5月31日以前に着工された住宅に支援を拡大したところであり、本町においても、2000年5月31日以前の住宅を対象にした支援を令和9年4月1日から予定している。

安全確保・道路環境の改善

道路幅員の確保に努める



緊急車両 通行の支障となる電柱

道幅が狭く交差点部分に設置されている電柱の影響により、緊急車両がスムーズに曲がれない箇所がある。また近年は高齢化も進んでおり、救急搬送の重要

性は高まっている。万が一の際に、迅速な救命活動が妨げられることは、地域住民にとって大きな不安材料である。

問 本町ではこのような場所の道路状況や、緊急車両の通行支障が生じている現状について把握しているのか。

町長 昭和32年の土地区画整備事業をスタートに当初に整備された造成地内の道路においては、幅員が狭く、蓋のない側溝もあることから、緊急車両の通行を含め注意を要する箇所もあると認識している。

問 道路幅員の確保や電柱移設の必要性について、どのように認識しているか、また、電柱管理者との協

力は、電柱管理者との協

議や現地調査を含め、今後、安全対策を進めていく考えはあるのか。

町長 道路幅員の確保については、新たな道路側溝改良事業の際に、電柱を宅地寄りに移設し、側溝の切り回しを行い、対応をしている。また、電気・電話事業者側からの電柱の新設、移転の申請があった場合には、現地道路状況を確認し、道路通行に支障がないよう協議をしている。

側溝の安全対策について

町内における道路脇の側溝について蓋がされていない箇所がある。通学する児童や高齢者にとっては、転倒や脱輪の危険性があり雨天時や夜間にはさらに視認性が低下し、危険性が高まる。そこで側溝への脱輪防止の観点か

らも、グレーチング等の設置が有効と考える。

問 町内周辺における側溝の危険箇所について把握しているか、歩行者や車両の安全確保のため、グレーチング等の設置について、どのように認識しているか。また、現地調査を行い、必要に応じて段階的な整備や安全対策を進める考えはあるのか。

町長 今後の安全対策としては、道路の冠水が日常的に発生している箇所、及び通学路の安全対策を重点に道路側溝改良事業にて計画的に有蓋化を進めていく。また、道路、側溝等の要望を受けた際には現地調査を行い、必要と判断される箇所についてはその都度改修をする。

道路整備



たか 屋 伸 一



一般質問

楽天2軍

拠点誘致に手を挙げては



ふみ あき 藤 暁 史

正式に表明したい

町長 方も便利になるのでは。そういう機運が生まれても不思議ではない。様々な挑戦のなか可能性も出てくる。

問 楽天2軍の経済効果は10億円から数100億円。仙南の未来のためにも楽天で盛り上げてほしい。

町長 挑戦する姿勢を示していく。

問 プチプチ(気泡緩衝材)の再利用

問 分別し再利用することがSDGsに繋がるのでは。

町長 廃棄量抑制や資源循環の観点から、SDGsの理念に寄与する。

問 リサイクルボックスを役場に設置できないか。

町長 現時点での設置は難しい。

問 SDGs教育の一環で学校にリサイクルボックスを設置



白石川右岸に楽天球場を作って

町長 図工や総合学習の時間、防災訓練などの機会に参考事例として紹介するなど取り組む。

問 避難所にプチプチの簡易ベッドを導入する考えはあるか。

町長 備蓄品として導入に向け調査検討を行う。

令和10年に賑わい交流拠点施設がオープン予定。オープンしてからが本当のスタート。10年先、20年先のビジョンはどう描かれていくのか。

問 第7次長期総合計画に、賑わい交流拠点施設を「新たなまちづくりのシンボル」として位置づけ、まちづくりに繋げては。

町長 シンボルとして位置付けるにふさわしい。周辺を含め

広域的視点による、まちづくりの重要な役割を果たす施設と考える。

問 施設がオープンした暁には「桜のまち宣言」をし、まちのブランド化に繋げては。

町長 宣言までは考えていないが、町民参加型のまちづくりを検討する。

問 賑わい交流拠点施設で桜や花を活かした町民参加型のまちづくりを推進して

は。

町長 桜サポーター制度の創設を検討し、新たな景観づくりとして反映していきたい。

問 桜を育て未来へ継承するため条例を制定しては。

町長 条例制定までは考えていない。

問 桜の保全活動を束ねる理念条例が無い。条例があれば活動に重みと意味が増すのでは。

制度づくりは着

町長 実に、いろんな考え方に沿って努めていく。

問 施設に更なる強力なコンテンツが加われば鬼に金棒。楽天球団の2軍を誘致しては。

町長 町として誘致実現に誠心誠意取り組み。

問 交流人口が増えれば上大谷に駅を作ることも可能と考える。金ヶ瀬や広表の

と聞いたことがないし、潜伏期間も厚生労働省ホームページによれば24時間から48時間とされているため私も考えていないが、飲料水という安全安心が絶対条件のものに対し、不安が広がったということ

問 受水槽の経過年数と当日の状況を伺う。

教育長 設置から35年が経過。水道管から受水槽へ給水を調整するバルブの老朽化が原因で、業者対応で午後から復旧した。職員の欠席は低血圧や風邪で、ノロウイルス感染はない。水質検査も行

問 受水槽の耐用年数は15年とされている。長寿命化を図っても30年を超えれば部品劣化も考えられる。担当課はどう考えているのか。

教育長 今回の事態も受け、施設が多いためいつべんに更新することは難しいが計画的に補助金活用も視野

に入れ進めたい。

問 町内小中学校は、町の指定避難所にもなっている。文部科学省の「学校施設環境改善交付金」は今年度から1校の工事費用が400万円を超える

町長 補助金の面、申請について確認しながら早急に対応することで議論させていただく。

補助金を活用し更新対応を

早急な対応を議論する



防災機能強化の視点を持つほしい

4月8日の始業式で金ヶ瀬小学校の水道が使えなくなると、関係者に伺った。受水槽が故障し役場がポリタンクでトイレ用の水を持ってきたという内容

だった。さらに翌日、複数人の職員が欠席し前日の水を飲んだからノロウイルスにかかったと噂もされたようだ。地上設置型の受水槽でノロウイルスにかかる



あき かつ ま く さ 佐久間 克明

一般質問



おお ぬま ただ ひろ
大沼 忠弘

欠員の原因分析は

地域の担い手

社会情勢の変化による影響が大

問 区長不在の地区はあるのか、民生委員・児童委員、消防団員の定数に対する直近の欠員状況はどうなっているか。

町長 区長不在は1行の政区、民生委員・児童委員は定数58名に対して10行政区、13名の欠員、消防団員については定数300名に対して66名の欠員。

問 欠員が生じている事について原因の分析は。

町長 コロナ禍による社会の課題が多様化・複雑化していることも要因と捉えている。消防団についてもライフスタイルの多様化や加入することのメリットの有無の重視など、社会構造の変化による影響等が大きいものと捉えている。

問 欠員が生じていることで行政運営上の不都合、行政サービスの低下が生じていないか、また今後懸念されることは。

町長 区長については区長代理がその

業務を行っているため不都合は生じていない。民生委員・児童委員については、住民の身近な相談相手であり、行政サービス等との「つなぎ役」であることから、不在の行政区では、問題の早期発見などができることで支援につながらないケースもあるものと受け止めている。

消防団については、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住

身近な相談相手は行政とのつなぎ役

担当行政区	氏 名	担当行政区	氏 名
小 山 田	日下 進	錦 町	菅野 希子
橋本・福田	(人選中)	//	吉野しか子
小 島	佐藤 正博	住 吉 町	半澤みつ子
上 川 原	木村きよ子	稗 田	(人選中)
//	佐々木一美	//	(人選中)
//	高橋美佐子	原 前	渡辺 幹
上 町 1	丹野 孝子	//	(人選中)
上 町 2	伊東 直恵	南 原 前	高屋 陽子
中 町	吉田 裕子	上 谷 1	齋藤しげ子
本 町 1	加茂 明子	//	齋 敦子
本 町 2	齋藤樹一郎	上 谷 2	若井利江子
新 田 町	杉内 久美	上 谷 3	佐々木さやか
//	加藤 里美	//	齋 宏行
//	我妻 早苗	上 大 谷	武藤 秋子
桜 町 1	(人選中)	丑越・緑団地	大沼 弘子
//	(人選中)	//	齋藤登美子
桜 町 2	岩間 洋子	//	村上 豊子
桜 町 3	高橋 宏	金ヶ瀬1・湯尻	持田 祝子
//	(人選中)	金ヶ瀬2・3	山家 重幸
//	(人選中)	金ヶ瀬 4	石川 尚美
尾形丁1	(人選中)	金ヶ瀬 5	佐藤 信子
尾形丁2	(人選中)	金ヶ瀬 6	野澤真理子
末 広	日塔 陽子	//	古山 竹弘
//	齋 あけみ	堤 1・2	尾形 純子
保 料	(人選中)	新開・新寺	山田 義信
西 原	齋 久美子	主任児童委員	
//	鈴木 肇子	南小学区	佐々木伸明
幸 町	佐藤かなめ	大小学区	竹川 貴子
中 島 町	一條 幸江	金小学区	秋野ひろみ

「面」で守る防犯体制を

環境整備を研究する



地域を守る「見守りの目」担い手不足続く

近年、共働き世帯の増加やライフスタイルの変化、地域コミュニティの希薄化などにより、従来の「地域の目」による見守り機能が弱まりつつあると感じる。

また、不審者情報や子どもへの声かけ事案など、地域を取り巻く不安も多様化している。大河原町は仙南地域の中心的な役割を担い、人や車の往来も多いこ

町長 本町は交通の要衝であり、町外からの主要導線や出入りルートへの対策は、犯罪件数の減少につながる有効な手段の一つ

とから、防犯対策の重要性はさらに高まっている。これまでの公園や公共施設など個別箇所への「点」の防犯に加え、町外からの主要導線や町の出入り口を含めた「面」の防犯という視点が必要ではないかと考え質問する。

問 町外からの主要導線や町への出入りルートに対する防犯対策についての考えは。

子どもたちの声を活かす政策を

問 今後の防犯環境整備をどのように進めていくのか。

町長 現時点で具体的対策はないが、警察署など関係機関と協議しながら、町外から犯罪を持ち込ませない防犯環境整備について研究していく。

問 現在、町では子どもたちの意見や要望をどのように把握しているのか。

教員長 生涯学習事業のアンケートや「中学生まちづくり夢・未来会議」などを通じて意見を聞いている。

子どもたちの声を活かす政策を

問 今後、子どもたちが町づくりに参加できる機会を設ける考えはあるか。

教員長 アンケートや意見交換会、ワークショップなど、子どもたちが参加しやすい手法を検討していく。

問 今後どのような子どもたちの声を町政へ反映していくのか。

教員長 次年度には教育委員と小中学生との懇談の機会を設け、学校や教育に関する意見や要望を聴き、今後の施策展開に活かしていく。

次の防犯対策



えん どう ゆう や
遠藤 勇耶

調整池変更工事問題の再発防止策について

全員協議会

本年3月会議において、10号議案（賑わい交流施設の調整池工事における変更契約）が賛成多数で可決されました。また、議決にあたり「この事態に至った経緯や課題など、具体的な再発防止策を町民と議会へ説明することを求める」とした付帯決議も可決されたため、町から提示された再発防止策についての検証が行われました。



提示予定の「工事フローチャート」は、現行のものを改定するものなのか。現行版があるならば確認したい。
再発防止の前提として、なぜこれまで「当たり前のこと」が当たり前に出来ていなかったのか、根本的な原因を検証すべきである。



設計・施工監理の徹底において、設計段階から「課を超えて技術職の確認を行う」旨の文言を追加すべきではないか。
多種多様な工事（河川・下水等）がある中で、すべてを網羅したフローチャートが作成可能なのか、どのようなイメージのものを想定しているのか示してほしい。



例規の理解と周知のために作成するとしている「工事フローチャート」について、いつまでに提出（運用開始）されるものなのか時期を明確にしてほしい。



再発防止の有効な手段として「決裁権限の明確化」や「日付印のある稟議書の徹底」が必要である。
フローチャートとは別に、課内および施工業者とも工程を共有・把握できる「チェックシート」の作成を提案する。



今回の事案について「いつ、誰が、どのようにして議会の議決を経ずに進めてしまったのか」という間違いの起きた原因を明確に特定しなければ、再発防止の検証にはならない。それを踏まえたフローチャートにすべきである。



設計・施工監理において「担当者任せにせず、複数人による確認体制をとる」としているが、具体的に何人体制を指すのか人数を明確に記載すべきである。



職員への例規周知について、頻度・範囲・媒体などの具体的な実施方法を明記すべきである。
金額や数量のない指示書のみで工事が進められた詳細な原因・経緯を検証し、決裁権や確認者の変更まで踏み込んだ実効性のある再発防止策にすべきである。
現在進行中の工事を確認し合える、技術職員同士のミーティングの場を設けるべきではないか。

『作って終わり』にしないため、これらの意見をまとめて町執行部に提出しました。

※全員協議会（全協）とは、議会の全議員が集まって開かれる会議のことです。ただし、本会議や委員会のように法律に基づいて議案を審議・決定する場ではありません。町長など執行部から町政の重要な計画や方針について説明を受け、議員同士で議論や意見交換、情報共有を行うことが主な目的です。

予算偏重

一般質問

右岸整備による弊害は

出ていないと考える



おか ざき たかし
岡 崎 隆

2026年も6月に入り出水期を迎えた。梅雨や台風だけでなくエルニーニョにより西太平洋が高温になることで今夏は積乱雲の活動も活発になるとの予報も出ております。
「酷暑日」なる名称も40℃以上の日に用いられることとなり、更に「河川氾濫・大雨浸水・土砂災害・高潮」に対する新しい気象情報も5月28日から変更

され住民主体の避難体制の再構築が急がれる。特に今年度は防災減災に特に注力しなければならぬと考えるので以下伺う。
問 地震や水害による停電・断水等のインフラへの被害が甚大だと多くの避難所が必要となる。現在の緊急避難所50カ所、指定避難所15カ所、福祉避難所3カ所での受け入れ態勢は万全か。

町長 人口の80%の受け入れが可能であると想定している。さらに被害が大きくなれば学校施設の追加で活用し更なる受け入れも可能とする。
問 金ヶ瀬中学校体育館は避難所であるのに4月から蓄電池（リチウムイオン電池）が壊れており避難所としての機能を失っている。なぜすぐに更新しないのか。専決処

分に対応すべき緊急事態ではないか。500万円の費用が支出できないくらい財政が悪いのか。
政策企画課長 同じ時期に導設備があり、全体的な今後の更新または別の方法を検討している。
問 この蓄電池の件も町民の命とくらしに関わる設備である。白石川右岸整備事業にあまりにも予算を



緊急時避難所利用の金ヶ瀬中学校体育館

町長 弊害は出ていないものと考えている。費やすことが、町民生活を圧迫してもらってはもつてのほか。この事業が各課の予算要求を委縮させることは弊害が出ていると考えるかどうか。

問 このような状況は右岸整備の軟弱地盤より不測の事態ではないか。
町長 そのようなとはとらえていない。

総務産業常任委員会 所管事務調査



行政視察で先進事例を調査しました。

5月13日から15日にかけて、福岡県直方市と鞍手町を視察しました。



直方市では、市民ボランティアが主体となった花による景観づくりや河川空間を活用した賑わい創出について学びました。花植え活動やイベントを通じて、多くの人が集まる魅力ある空間づくりが行われていました。



鞍手町では、閉校となった学校施設を活用した「くらて学園」を視察し、既存施設を有効活用する官民連携の取り組みについて学びました。遊休資産の有効活用や維持管理コストの抑制につながっている点が特徴的でした。



所管事務調査を実施
令和8年4月22日

前回実施した農業関係者及び猟友会との意見交換で挙げられた課題について、担当課へ確認調査を実施しました。

農業の担い手不足や新規就農者支援、耕作放棄地対策、農産物の販路確保、有害鳥獣対策などについて、現状の取り組みや制度の活用状況、今後の方向性について確認しました。

今後は、担当課からの回答を踏まえ、委員会として意見を集約し、町民の皆さまの声を反映した政策提言につなげてまいります。



委員意見

今回の視察や調査で得た知見を、今後の委員会活動や政策提言に活かしてまいります。

訃報 深く哀悼の意を表します

大河原町議会 議長 丸山 勝利氏が 逝去されました



故 丸山勝利 氏

去る7月4日、我が大河原町議会第27代議長である丸山勝利氏（享年61歳）が急逝されました。あまりにも突然の悲報に、議員一同深い悲しみに包まれております。

丸山勝利氏は、平成21年の初当選以来、5期17年の長きにわたり、卓越した見識と強い指導力をもって町政の発展と地方自治の振興に多大なる貢献をされました。

令和7年5月からは議長に就任され、常に公平無私な姿勢で円滑な議会運営と議論の活性化に心血を注がれました。その温厚篤実なお人柄と情熱は、議員一同のみならず多くの町民から深く慕われ、敬愛されておりました。

ここに生前の多大なるご功績を深く偲び、謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみを申し上げます。

【主な略歴】

- 平成21年5月 大河原町議会議員選挙 初当選（通算5期）
- 平成25年5月 文教厚生常任委員会 委員長に就任
- 令和7年5月 大河原町議会 第27代議長に就任

令和7年度政務活動費支出状況

[単位:円]

会 派 名	議 員 名	支出総額	収 入	内 訳	返還額
			町からの交付額	自己負担額	
巖 会	佐藤 巖 岡崎 隆 高屋 伸一	0	165,000	0	165,000
政 道 会	丸山 勝利 佐久間克明 遠藤 勇耶	197,196	165,000	32,196	0
一 心 会	大沼 忠弘	58,793	55,000	3,793	0
公 明 会	高橋 芳男	58,793	55,000	3,793	0
新 政 会	中村 淳	58,793	55,000	3,793	0
青 葉 会	秋山 昇	58,793	55,000	3,793	0
あ かつ き 会	佐藤 暁史	69,816	55,000	14,816	0
志 士 の 会	山崎 剛	69,816	55,000	14,816	0
思 信 会	須藤 慎	69,816	55,000	14,816	0
つむぐみらい	今野 智志	143,796	55,000	88,796	0
日 本 共 産 党	万波 孝子	55,043	55,000	43	0
合 計		840,655	825,000	180,655	165,000

《政務活動費支出の内訳》 調査研究費（視察等研修費用）／広報広聴費（新聞等の発行費用）

《調査視察研修の主な内容》

一心会、公明会、新政会、青葉会

東京都稲城市「いなぎ発信基地ペアテラス」

東京都福生市「くるみるふっさ」

政道会、あかつき会、志士の会、思信会

岐阜県養老町「地域通貨について」

岐阜県大垣市「かわまちテラス（イベント）について」

愛知県安城市「アンフォーレ（中心市街地拠点施設）の利用状況」

政務活動費

このように使われました

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5,000円を会派に交付しています。

町民の声

町に望むことをお聞きました。

プロフィール

たまかわ みさき
玉川 美咲さん (住吉区)
仙台市出身
【家族】 子供2人、3人家族

みんなでつくる町

大河原町に住むことになった経緯

小学校に入学するタイミングで父の地元である大河原町へ引越してきました。その後、一時期は町を離れて生活していましたが、シングルマザーになったことをきっかけに9年前に大河原町へ戻ってきました。改めて暮らしてみると、大河原町は買い物や医療機関、公共施設など生活に必要なものが身近にそろっており、とても住みやすい町だと感じています。自然も豊かで、子育てをする環境としても恵まれていると思います。今では子どもたちをこの町で育てることができて本当に良かったと感じています。

世代を超えた交流ある街に

私が子どもの頃と比べると、地域のつなが

りが少しずつ薄れているように感じます。学校行事などで保護者が参加する機会が減り、親同士が顔を合わせる機会も少なくなりました。その影響もあり、親子会などの地域活動への参加も減っているように感じ、少し寂しく思っています。町内には活用できる施設もたくさんありますので、親子や地域住民が気軽に集まれるイベントや交流の機会が増えるとうれしく思います。また、私が子どもの頃に開催されていた町民運動会が復活したら嬉しいです。親子三代リレーで張り切った父が肉離れを起したことは今でも覚えています。地域のつながりを深めるきっかけとなり大切な思い出になるのではないかと思います。

地域とともに育つ子どもたち

そのような中で、とてもありがたいと感じ

地域防災を支える力

近年、消防団員の高齢化や人数の減少が進み、地域の消防・防火活動の維持が難しくなっています。地域の安全を守るためにも、

「町民の声」寄稿ありがとうございました。皆さんが感じている便利なまち大河原。私も、仙台に出ることが少なくなっています。人と人のつながりが大事だというご意見を承りました。町民運動会の復活の可能性など町に投げかけてみます。

お答えします



住み続けたいと思える町

これから住みやすさだけでなく、人々とのつながりを感じられる暖かい町として、大河原町がさらに発展していくことを願っています。

若い世代の入団が増えることを期待しています。私自身も今年から消防団に入団し、微力ながら地域貢献に携わっていきたくと考えています。



文教厚生常任委員会 所管事務調査

令和8年5月20日

緊急通報システムを調査しました

文教厚生常任委員会では、ひとり暮らし高齢者等を対象とした緊急通報システムについて所管事務調査を実施しました。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、制度の充実に向けて調査・検討を進めています。



調査・検討した主な内容

- ◆ 利用状況や通報実績の確認
年度ごとの利用者数、通報件数、緊急通報の内容や対応状況など、システムの運用状況を確認しました。
- ◆ 協力員確保の課題や体制の状況
協力員の登録状況や確保に向けた取組、協力員の負担軽減や支援体制のあり方について調査しました。
- ◆ 制度の周知方法や周知手段の検討
対象者への情報提供の方法や、より効果的な周知手段について現状を確認し、検討を行いました。
- ◆ 対象者のあり方の検討
ひとり暮らし高齢者等の実態やニーズを踏まえ、対象者の範囲や要件の見直しについて検討しました。
- ◆ 他自治体の事例や取り組みとの比較検討 など
近隣自治体や先進自治体の制度や支援体制、運用方法などを参考に、本町における制度のあり方を比較検討しました。

調査で確認された主な課題

- 協力員の高齢化や新規確保の難しさ
- 制度の認知度が十分ではない
- 緊急時の対応体制のさらなる強化が必要
- 対象者の範囲や要件の見直しの検討が必要

今後の方向性

今回の調査結果をもとに、制度の見直しや運用の改善に向け、具体的な検討を進めていきます。
高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりに向け、制度の充実にめざしてまいります。

まとめ

緊急通報システムは、ひとり暮らし高齢者等の安心・安全を支える重要な仕組みです。今後も現場の声を大切にしながら、制度の充実に向けた調査・研究を進めてまいります。

こんな町に住みたいな



金ヶ瀬中学校
あきやま かんた 秋山 寛太さん

私は、人情あふれる大河原町に住みたいです。町の方とすれ違った時の優しい挨拶や地域の方々の温かい見守りがあるこの町が私はとても大好きです。だからこそ、誰もが「こんな町に住みたいな」と思えるこの人の温かさを、これから大切にし、未来へ残していきたいです。これから、私自身が一人の人間として、周りの人を思いやり、優しさを多く届けていける存在になりたいです。この温かい人情があふれ続ける町が続いてほしいです。



金ヶ瀬中学校
かくだ ゆずき 角田 柚季さん

私は、ボイ捨ての無い町に住みたいです。私の祖母は農家をしています。とても美味しいお米を作ってくれているのですが、困っていることがあります。それは、ごみのボイ捨てです。今、田んぼに捨てられているごみは、土地の所有者が捨てることになっています。でも、それは農家をして人からするとすごく苦勞することです。なので、美味しいお米を作り続けられるようなボイ捨ての無い町に住みたいと考えました。

お答えします
人情あふれる大河原。既にあるものを守りたいと言つ気持ち。私達議員もそう在るようにつめます。

お答えします
担当課に聞いてきました。町民生活課では、看板設置や監視カメラの設置を進めています。農政課には、田んぼから出たごみの処分を農家に負担がかからない工夫を考えてもらうよう提案してききました。

今回の表紙は

桜保育所の七夕会の様子は、とてもきれいな七夕飾りがホールを彩っていました。先生から織姫と彦星のお話を聞かせてもらったり、お願いごとをしました。



みなさんでお星さま釣りをしたお星で協力しながら天の川を作りました。たなばたさまを歌ってとても楽しい七夕会になりました。みんなのお願いごとが叶うといいですね。

編集後記

7月4日、本町議会の議長にして、本誌の発行責任者であります丸山勝利氏が、急逝いたしました。葬儀は、丸山家と町議会の合同で、議会葬として行われました。ご冥福をお祈り致します。

さて、今号より、「こんな町に住みたいな」と「町民の声」のコーナーにちよつとしたアンサーをさせてもらう事にしました。町民の方と議会によるキャッチボールのような誌面としていきます。如何だったでしょうか。今後も皆さんに読んで頂ける様に研鑽していきます。ご期待下さい。(中村 淳)

編集発行責任者
議長 岡崎 隆
議会広報常任委員
委員長 中村 淳
副委員長 佐藤 史
委員 大沼 忠弘
委員 高屋 勇一
委員 今野 智志